**授業デザイン（２年生道徳）**日時：平成２４年９月２７日（木）

　　授業者：２年Ａ組：中川　智之　　　２年Ｂ組：横山　江梨

|  |
| --- |
| **１、授業内容** |
| タッチアウト（あかつき） |
| **２、本時のねらい**【主題名：誠実な心　３－（３）】 |
| 人間には心の弱さと、誠実さが同居することに気づき、誠実さを励まし気高く生きようとする心情を育てる。 |
| **３、材料** |
| 資料（教科書）、ワークシート、掲示物 |
| **４、大まかな流れ** |
| 　野球の資料　＊場面が３つにわかれている。（①仙台駅・東北大会へ　②県大会決勝戦　③仙台駅）　確認 |
| 資料を読み確認する。 |
| ・どのような決勝戦だったか* ツーアウト　２塁ランナーが帰ってくれば、負け、全国大会への夢が終わる状況を確認する

（野球部に補足をしてもらうとよい）　　・６番打者ボテボテのゴロ１塁セーフ、ランナー（佐藤君）２塁から３塁、ホームへ→アウト！！　　・実際は落球していた。　　ぼく…ボールを拾い上げ、あたりを見回した。 |
| ①実際にわずかな時間だったのに、「ぼく」には永遠のように感じられたのはどうして　　・ばれたらどうしよう　　　　　　・見つかったらどうしよう　　・誰か気づいたのではないか　　　・不安（これでよかった？　正直に言うべきだった？　）　②ベンチに戻った「ぼく」の様子から、胸中を察してみよう。　＊ここではじめて行為を咎める気持ち→誠実さが表れ葛藤となる。③スポーツの世界では審判の判定が絶対。審判がアウトと判定したのだから、これでいい。こんなにいつまでも気にする必要はないのに、「ぼく」の気持がはれないのはなぜだろう。　【ワークシート・発言】　　　　　　　　　　　　　＊主人公が悩み、苦しむのは「人間としてのよさ＝良心」を持っているからであることをおさえる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |

永遠のよう

**タッチアウト**

　　　　　①仙台駅・東北大会へ

②県大会決勝戦

③仙台駅

　県大会決勝戦→全国大会へ

　　　　　　↓

　**アウト**

　落球していた

　　　・ばれたらどうしよう

　　　・見つかったらどうしよう

　　　・不安

　ベンチでの胸中

　　・

　　・

　　・

優勝し、東北大会へ

気持ちがはれないのはなぜ？

　　・

　　・

　　・